

県議会 おおいた

No.135
大分県議会
令和6年8月発行

題字は、大分県立佐伯鶴城高等学校3年 かなやま ゆいか 金山 結華さんの作品です。

夏休み子ども議会見学



令和6年8月1日(木)に県内在住の小学5～6年生17名とその保護者の方々にご参加いただき、夏休み子ども議会見学を開催しました。

子どもたちは本会議場で県議会の仕組みや役割について学び、議長室や傍聴席などを見学した後、4つのグループに分かれ、それぞれのテーマについて議員と話し合い、最後に各グループの代表者が本会議場の演壇から話し合った内容を発表しました。

参加した子どもたちからは、「議場はとても広くて、議員さんがたくさんいたから、とてもわくわくした」、「議員さんはもっと固い人というイメージを持っていたけど、ユーモアもあり親近感が持てた」などの感想が寄せられました。

令和6年
第2回定例会

6月13日から6月28日までの16日間、開催しました。

開会后、元吉議長による諸般の報告に続き、令和6年度大分県一般会計補正予算の議案などが提出され、佐藤知事が提案理由を説明しました。

6月19日から3日間にわたり行われた一般質問には12人の議員が登壇し、県政の課題等に対して執行部と活発な議論を行いました。

また、6月21日には、新たな特別委員会「広域交通ネットワーク特別委員会」の設置を決定しました。

6月24日、25日に開催された各常任委員会では、付託された議案等について審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案12件、議員提出議案2件、委員会提出議案1件、請願1件について、それぞれ可決・同意・承認・採択し、閉会しました。



各議員名欄にある二次元バーコードから、そのほかの質問を含めて、動画で御覧頂けます。

一般質問

6月19日(水)



県民クラブ
玉田 輝義 議員



ユネスコエコパークの今後の取組について

Q 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークは、認定されてから7年が経過しましたが、今後どのように取り組んでいくのか生活環境部長に伺います。

A 祖母・傾・大崩地域は、原生的な自然と、それを敬い独自の文化を育んできた共生の歴史が評価され、ユネスコエコパークに登録されました。

今後は、エリアとしての魅力をさらに高めていくことが重要です。



祖母・傾・大崩
ユネスコエコパーク

まず、ブランド価値の向上では、エコパークの理念と合致した農林産物を対象としたブランド認証制度を新たに創設し、7月から運用を始めます。

教育・研究については、県とAPUが連携して、エコパークが持つ環境価値に関する学習プログラムを新たに構築し、研究の場としてエコパークの活用を促します。



自由民主党
森 誠一 議員



警察の職場環境について

Q 警察職員にとって風通しがよく、働きがいのある職場環境づくりにはどのように取り組んでいくのか警察本部長に伺います。

A 風通しのよい職場環境づくりは、組織運営に欠かすことのできないものです。

そのため、職員が業務の見直しについて、いつでも提案できる制度を創設し、警察官の管外居住の緩和など環境整備を行ってききました。

加えて、各種ハラスメント等を防ぐための匿名相談・通報制度を設け、職員が悩みを抱え込んだりすることのない職場環境づくりに努めています。

また、働く意欲を向上させるため、超過勤務の削減や休暇の取得促進、男性職員の子育てへの積極的な参画なども継続して推進していきます。

引き続き、全ての警察職員にとって、風通しがよく働きがいのある職場環境を構築していきます。



大分県警察
マスコット
キャラクター
ピンキー



志士の会
末宗 秀雄 議員



全県一区入試制度について

Q 全県一区入試制度は、若者の地域への定着に逆行するものであり、廃止すべであると考えますが、知事の考えを伺います。

A 本県は、学校選択の自由を保障する観点から、平成20年度入試より全県一区制度を導入しました。

令和4年に実施したアンケート調査では、中学生の76%、保護者の86%が全県一区制度に肯定的な回答をしています。

また、全県一区導入前後の高校への進学状況を比べると、大分市

外から大分市内普通科等への進学率は増えていますが、全県一区入試制度対象外の私立高校や県外高校への進学も増えています。そのため、地域の普通科が選ばれるには、地域等と連携した魅力ある学校づくりの推進が重要です。

加えて、県教育委員会では、全ての高校で学びの質が担保されるよう授業改善を推進し、全校に指導教諭を配置したり、来年度は数学や英語の習熟度別授業等の遠隔配信を開始します。



自由民主党
伊田 実 議員



別府港の再編について

Q 別府港の再編にどのような取り組みでいくのか、交通政策局長に伺います。

A 本県の海の玄関口である別府港は、国際観光港として、重要な役割を担っています。再編整備にあたっては、これまで大阪航路フェリーの大型化に伴う駐車場の拡張等を行なったほか、現在は四国航路のフェリー乗り場移転に向けた工事を実施しているところです。

今後は、フェリー岸壁の改良や背後地の埋立造成等を行い、魅力

的で利便性の高いターミナル施設を整備する予定です。

コロナ禍により動きが止まっていた大型クルーズ船も昨年度は過去10年間で最多の31回の寄港があり、好調な状況が続いています。引き続き、観光客の受入環境等の整備に向け、着実に別府港の再編を進めていきます。



日本寄港史上過去最大級のクルーズ船 (別府港)

6月20日(木)



自由民主党
岡野 涼子 議員



天瀬地区における珍珠川の改修について

Q 天瀬地区における珍珠川の改修にどのような取り組みでいくのか、知事に伺います。

A 天瀬地区は、本県にとって重要な温泉地の一つであり、令和

2年7月豪雨の被災直後から、河川改修と温泉街の存続を両立させる復旧・復興に取り組んでいます。

河川改修においては、温泉街の命である泉源をはじめ、露天風呂等への影響を最小限に抑えるよう、慎重に事業を進めています。

また、天瀬地区の復興を推進していくためには、まちづくりのビジョンを関係者が共有し、協働して取り組むことが重要です。

昨年3月に策定された「天ヶ瀬温泉街復興まちづくり計画」では、エリアの景観形成等により「歩いて楽しい温泉街」を目指すことが盛り込まれています。その実現に向けて、温泉街の景観に調和するよう、河川護岸のデザイン等と関係者と検討しているところです。



県民クラブ
御手洗 朋宏 議員



子育て世帯の経済的負担の軽減について

Q 子育て世帯の経済的負担の軽減に向けてどのように取り組んでいくのか、知事に伺います。

A 先般公表された令和5年の人口動態統計では、県内の出生数は6,259人、合計特殊出生率は1.39で、共に過去最少

を更新しており、県の総力を挙げて人口減少への対策を講じる必要があります。

県が毎年実施している意識調査において、毎回約7割の方が「理想とする子どもの人数を持つためには経済的支援が必要」と回答しています。

そのため、県ではこれまで、不妊治療費や第2子以降の保育料等の助成を行ってきました。

今年度は、こども医療費助成を高校生年代まで拡充したほか、医療的ケア児への支援、県立学校の給食費無償化等を開始し、さらに10月から児童手当の拡充が予定されています。

また、安定かつ継続的な支援制度とするため、こども医療費の無償化など、本来国の責任で取り組むべき施策については、国に制度の創設と財源の確保を強く要望していきます。



自由民主党
首藤 健二郎 議員



県内プロスポーツチームの活性化について

Q 県内プロスポーツチームの活性化についてどのように取り組んでいくのか、知事に伺います。



レゾナックドーム大分におけるプロスポーツチーム
宣伝動画放映の様子

A 県では、スポーツによる地域の元気づくりを加速していく取組を行っています。その一環として、県内の各プロスポーツチームと地域の交流を進めています。身近に訪れた選手やチームに興味を持ち、試合会場に足を運んでもらうことを目的に、今年度は50を超える学校等との交流を予定しています。

また、プロスポーツに対する応援機運の再醸成を図るため、今年度は、各チームのホームゲームに県民を無料招待する取組を行っており、長くチームを応援し続ける契機になることを期待しています。チーム間の連携については、大分トリニータのホームゲームにおいて、バジャイ大分など各チームの紹介動画を放映しています。

今後も、大分の元気づくりと、チームの活性化につながる応援機運の醸成を推進していきます。



自由民主党
あべ ながお
長夫 議員



漁業の成長産業化について

Q 本県で開催される全国豊かな海づくり大会を契機として、漁業の成長産業化に今後どのように取り組んで行くのか知事に伺います。

A 全国豊かな海づくり大会の漁業振興に取り組んでいきます。まず生産面では、漁船漁業における漁場環境整備、種苗放流、資源管理を一体的に進め、海域毎の放流効果を高めています。

養殖業においては、養殖漁場の環境改善を図るとともに、給餌の自動化や赤潮被害防止に向けたスマート技術の導入など、生産性の向上も進めます。

次に販売面では、消費者の購買意欲の喚起や新たな販路開拓等、水産物の消費拡大への取組を進めます。

さらに、完成間近の蒲江加工場では、刺身のサクや切り身など多様化するニーズに対し、国内の

みならず、海外の需要も取り込んでいきます。



6月21日(金)



県民クラブ
わかやま
若山 雅敏 議員



中小企業における賃上げの支援について

Q 中小企業における賃上げの支援をどのように取り組んで行くのか知事に伺います。

A 物価高騰が続く、人手不足が進む中、県民生活を守るとともに、必要な人材を確保していくには賃上げの実現が重要です。

中小企業が賃上げに踏み出せる環境整備に向け、価格転嫁対策と

して、労働局と連携した取組や更なる機運醸成に向けた情報発信などに努めます。

また、賃上げを行う企業に補助率等をかさ上げする「賃上げ枠」の拡大などの支援も行っています。

中小企業の賃上げを持続的なものにするには、金融・経営両面からの下支えも大事です。

今年度も企業の設備投資や経営の安定を支える県制度資金の新規融資枠を設けたほか、中小企業基盤整備機構と連携し、経営支援を更に強化する支援体制等も構築しています。



自由民主党
ごとうしんじろう
後藤慎太郎 議員



脱炭素化に向けた取組について

Q 「環境先進県おいた」を指す中で、脱炭素化に今後どのように取り組んでいくのか知事に伺います。

A 2050年脱炭素化の実現にあたっては、関係者と連携し、持続可能な社会を構築していくことが重要であるため、県では、大分県版カーボンニュートラルをスタートし、官民一体となった取組を進めています。

まず、民生部門では、脱炭素の面的拡大の起点となるモデル地域を創出するため、大分スポーツ公園エリアをフィールドに、国が推進する脱炭素先行地域への選定を目指します。

次に、産業部門では、企業の環境貢献を見える化し、企業価値の向上を後押しします。

2050年を見据え、本年1月に産官学一体となって取りまとめた「グリーン・コンビナートおおい推進構想」に基づき、次世代エネルギーである水素等の利活用やカーボンリサイクルなどを軸とした取組を進めていきます。



公明党
澤田 友広 議員



避難行動要支援者の避難について

Q 災害対策基本法に基づく避難行動要支援者の「個別避難計画」の作成状況と今後の見通しについて福祉保健部長に伺います。

A 個別避難計画は、県内の避難行動要支援者のうち、47・7%が作成済みで、作成の前提となる本人同意を得た方については、91・3%まで作成が進んでいます。市町村では計画作成の努力義務化を受け、優先度を判断の

上、作成を加速しています。

また、計画作成には福祉専門職や支援者との連携が不可欠であるため、昨年度からコーディネーターを大分県社会福祉協議会に配置し、市町村を支援しています。

加えて、避難訓練等を重ねて具体的な問題点を洗い出し、支援内容に適宜反映させるよう、市町村に働きかけているところです。

まずは、同意を得た方については、国が示した令和8年5月までの完成を目指し、最終的には、要支援者全員の個別避難計画の作成に向けて、市町村を支援していきます。



自由民主党
清田 哲也 議員



広域交通ネットワークの形成について

Q 県民に高規格道路や新幹線の整備を現実的なものと捉えてもらうためには、戦略性を持った進め方が重要ではないかと考えていますが、広域交通ネットワークの形成について知事の考えを伺います。

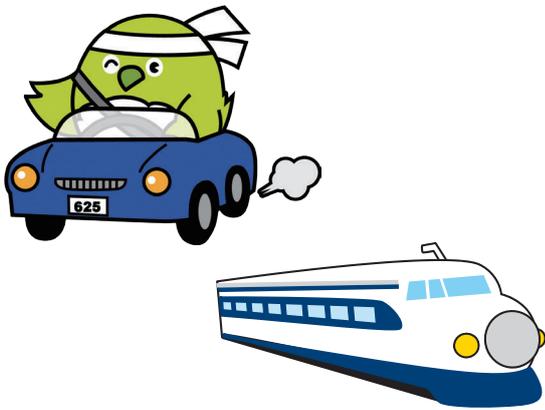
A 大分県の未来創造のためには、地域やまちの魅力を高め、人や物の流れを活性化させる広域交通ネットワークを充実させる

ことが必要です。

豊予海峡ルートの道路整備については、半導体や農産物等を効率的に関西方面へ運ぶ物流道路としての効果も期待されるため、国や関係機関等への働きかけを強めます。

四国新幹線は、東九州新幹線と繋がることで双方の価値が飛躍的に高まることから、整備計画への格上げに向けて、引き続き、国等へ要望していきます。

東九州新幹線については、整備格上げ後の手続きが迅速に進むよう、議論を尽くし、県民や関係県の理解を深めながら、機運を盛り上げたいと考えています。



可決された議案（議員提出）

○意見書（2件）

- ▽地方財政の充実・強化を求める意見書
- ▽義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

可決された議案（委員会提出）

○意見書（1件）

- ▽地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書

可決・同意・承認された議案等（知事提出）

○予算（1件）

- ▽令和6年度大分県一般会計補正予算（第1号）

○条例（7件）

- ▽大分県使用料及び手数料条例の一部改正について
- ▽大分県条例等の一部改正について

- ▽大分県税特別措置条例の一部改正について

○人事関係（2件）

- ▽副知事の選任について

- ▽教育委員会委員の任命について

○その他議案（1件）

- ▽工事委託契約の締結について

○報告（1件）

- ▽大分県条例等の一部改正について

常任委員会の活動状況

総務企画委員会

《委員会の開催状況》 6月25日開催



県内所管事務調査詳細

○付託案件

▽議案（5件）

・令和6年度大分県一般会計補正予算について（第1号） ほか

▽報告（1件）

・大分県税条例等の一部改正について

○諸般の報告（2件）

・新たな大分県行財政改革計画の素案について ほか

《県内所管事務調査》 5月8日～6月5日実施

佐伯市の若手中堅職員の政策提案をもとに、学生の地域社会への参画促進や自主活動のサポートなどを通じて若者の可能性を広げるために、令和4年6月に設立された「一般社団法人K I I S A（キイサ）」のほか、令和4年にクラフトビールの醸造を開始し、訪日外国人や国内観光客に対応した複合施設「ブルーワリーショップレストラン」も開設した昭和4年創業の醸造蔵「藤居醸造合資会社」など23か所を調査しました。



一般社団法人K I I S A



藤居醸造合資会社

福祉保健生活環境委員会

《委員会の開催状況》 6月25日開催



県内所管事務調査詳細

○付託案件

▽議案（3件）

・大分県国民健康保険条例の一部改正について ほか

▽請願（1件）

・地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書の提出について

○諸般の報告（5件）

・こどもの生活実態調査について ほか

《県内所管事務調査》 5月15日～6月3日実施

質の高い介護サービスの提供と介護現場における業務の効率化、負担軽減を図るため、積極的にICT機器を導入している介護老人保健施設「岡の苑」のほか、ひとり親世帯や生活に困窮する世帯等を対象に、子ども食堂や子育て支援など、地域の企業、団体等から幅広く支援を受けながら活動を続けている「NPO法人子育て応援レストラン」など22か所を調査しました。



介護老人保健施設「岡の苑」



NPO法人子育て応援レストラン

商工観光労働企業委員会

《委員会の開催状況》 6月24日開催



県内所管事務調査詳細

○諸般の報告（6件）

・繰越予算について

・創業支援実績について

・大分県産業人材確保・育成プラン（仮称）の策定について

・公益社団法人ツーリズムおおいたについて

・観光誘客の状況について

・経営戦略アクションプランの実施状況等について

《県内所管事務調査》 5月13日～5月28日実施

間伐材などをいかしたアロマ商品の製造・販売を行っており、自社ブランド「エッセンシャルオイル六月八日」の商品が、なかつ6次産業推奨品として初の認定を受けた「久恒山林株式会社」や、電気自動車などの電動モビリティを活用したガイド付きツアーの造成などによりエコツーリズムの推進に努めている「一般社団法人姫島エコツーリズム」など19か所を調査しました。



久恒山林株式会社



一般社団法人姫島エコツーリズム

大分県議会では6つの常任委員会を設け、所管する各部局に関する事項の審査や調査などを行っています。「委員会」は少数の議員で、県の仕事を部門ごとに分担して受け持ち、詳しく調べて本会議に報告する役割があります。

農林水産委員会

《委員会の開催状況》 6月24日開催

○諸般の報告（6件）

- ・ 新たな大分県農林水産業振興計画の素案について
- ・ 令和5年度の農林水産業への新規就業者について
- ・ 令和6年度へ繰越した令和5年度予算の再度繰越（事故繰越し）について ほか

《県内所管事務調査》 5月16日～5月31日実施

子牛を預託することにより、品質向上や生産コストの抑制を實踐し、肉用牛農家の経営安定を図ることを目的として今年4月に開業した県内2か所目の「キャトルステーション」や、カンパチやヒラマサの養殖にいち早く挑戦し、養殖技術をいかして平成30年から県と連携してかぼすヒラマサの生産を開始したほか、ブリの人工種苗を活用した試験養殖に取り組んでいる「渡辺水産有限会社」など22か所を調査しました。



キャトルステーション



渡辺水産有限会社



県内所管事務調査詳細

土木建築委員会

《委員会の開催状況》 6月25日開催

○付託案件

▽議案（1件）

・ 工事委託契約の締結について

○諸般の報告（5件）

- ・ 令和5年度予算の繰越しについて
- ・ 「豊ちやく2024」について
- ・ 県道栃野西大山線新蔵野トンネル工事の進捗状況について ほか

《県内所管事務調査》 5月8日～6月3日実施

県内各地の土木事務所を訪問し、職員配置や各事業の概要等について説明を受けるとともに、地域毎の課題に応じた現地調査を行いました。

災害・冬期・事故等に備えた安全・安心なネットワークの確保や広域観光ルートの形成などを図ることを目的に事業を進めている「国道212号(日田山国道路)道路改良事業」のほか、ホバークラフトの発着場として整備を進めている「大分空港海上アクセス整備事業」など26か所を調査しました。



国道212号道路改良事業



大分空港海上アクセス整備事業



県内所管事務調査詳細

文教警察委員会

《委員会の開催状況》 6月24日開催

○付託案件

▽議案（1件）

・ 大分県立学校職員及び大分県市町村立学校県費負担教職員定数条例の一部改正について

○諸般の報告（4件）

- ・ 新たな大分県長期教育計画案の骨子について
- ・ 大分県特別支援教育推進プラン（仮）の策定について ほか

《県内所管事務調査》 5月7日～5月30日実施

第43回豊かな海づくり大会等の開催に伴う大規模警備を見据えた部隊対処能力の向上などに取り組んでいる「機動隊」や、令和5年度は防災教育モデル校として生徒自身が身を守る力を付けるだけでなく、保護者や市役所、警察等の関係機関と連携して防災教育に取り組んだ「大分県立宇佐支援学校」など23か所を調査しました。



機動隊



大分県立宇佐支援学校



県内所管事務調査詳細

特別委員会の活動状況

新たな特別委員会
が設置されました！

広域交通ネットワーク特別委員会

～広域交流・観光・産業の振興～

目的

東九州新幹線、豊予海峡ルート、広域道路ネットワークの整備と、これらに伴う広域での経済交流や人的交流の促進、観光振興、産業振興などについて調査研究を行う。

期間

令和6年6月21日～令和9年3月31日

付託する事件

- (1) 東九州新幹線について
- (2) 豊予海峡ルートについて
- (3) 広域道路ネットワークについて
- (4) 広域交流、観光振興、産業振興について

(※党派名)

- 自・・・自由民主党
- 県・・・県民クラブ
- 公・・・公明党
- 共・・・日本共産党
- 志・・・志士の会



委員長
自 あそう えいさく
麻生 栄作



副委員長
県 きだ のぼる
木田 昇



自 きよた てつや
清田 哲也



自 いまよし じろう
今吉 次郎



自 あべ なおたか
阿部 長夫



自 おおた まさみ
太田 正美



自 ごとうしん たろう
後藤 慎太郎



自 きよきわ しんじ
木付 親次



自 みうら まさひろ
三浦 正臣



県 よしむら なおひさ
吉村 尚久



県 わかやま まさとし
若山 雅敏



県 たかはし はじめ
高橋 肇



公 さわだ ともひろ
澤田 友広



共 つつみ えいぞう
堤 栄三



志 すみえね ひでお
末宗 秀雄

経済活性化対策特別委員会

6月14日(金)に第7回経済活性化対策特別委員会が開催されました。

今回は参考人招致として、The Japan Travel Company 株式会社のクリスティ美保子代表取締役とクリスティ ポール ジェラード取締役のお二人にオンラインで出席していただきました。

お二人は、インバウンド旅行業を中心に、活動拠点である杵築市大田で活躍されており、委員会では、観光産業を軸にして、地方創生につながる取組についてお話をいただきました。



クリスティ
美保子
代表取締役



クリスティ
ポール
ジェラード
取締役

議員出前講座



姫島村立姫島中学校

6月11日 1～3年生 23人



学校法人別府大学明星小学校

7月1日 6年生 47人



中津市立豊田小学校

7月2日 6年生 59人



県立芸術文化短期大学

7月23日 1年生 131人

県議会では、県民の皆さんにとって身近でわかりやすい県議会を実現するため、議員が学校や大学等に出向き、児童・生徒や学生に県政の動きや議会の役割等について説明し、質問に答える「議員出前講座」を実施しています。

今回は、6～7月にかけて、4校で講座を行いました。参加した児童、生徒、学生からは、「議員になろうと思ったきっかけはなに」、「議員の活動や県の取組はどこで知ることができるか」といった質問や「今日の講義を聞いて議員がかっこいいと思ったから、将来は議員になりたい」、「議員さんは住民のために色々なことを決めていて、その議員さんを選んでいるのは住民だとわかった」などの感想が寄せられました。

議員出前講座 開催校募集中

議員が講師として学校等に出向き、県議会の仕組みや議員の活動についてわかりやすく説明します。開催を希望される際は、下記までお問い合わせください。

問合せ先

県議会事務局政策調査課 電話：097-506-5036

議場見学

～議会を見学してみませんか～

県議会では「開かれた県議会」に向けた取組の一環として、議場見学の受入れを行っています。

自治会の生涯学習行事、学校の社会見学等にぜひご活用ください！

内容 本会議場等の見学、県議会の役割・仕組み等の説明（30分程度）

受入日 議会開会中を除く平日



7月23日犬飼町わかあゆ国際交流会

問合せ先

県議会事務局政策調査課 電話：097-506-5035

政策勉強会

県議会では、地方議会が有する監視機能と政策立案機能をより一層発揮するため、定例会ごとに政策勉強会を開催しています。

6月の政策勉強会では、「一般社団法人うつりくらす」代表理事 中野リカ子氏を講師にお招きし「変わる移住」と題し、移住定住についてご講演をいただきました。



佐伯鶴城高等学校 ^{かな やま ゆい か} 金山 結華 さんの所属する書道部の様子をご紹介します

表紙の題字の作者

3年生5名、2年生5名、1年生8名で活動しています。文化祭や地域のお祭りなどで書道パフォーマンスも行っています。「楽しんで制作活動に励む」を目標に切磋琢磨しています。



《県議会今後の動き》

令和6年第3回定例会の日程(予定)

- 9月4日(水) 開会
 - 10日(火) 本会議(代表質問)
 - 11日(水) 本会議(一般質問)
 - 17日(火) 本会議(一般質問)
 - 24日(火) 閉会
- 常任委員会

県議会タイム YouTube

YouTubeでこれまでの定例会のダイジェストをご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください!



展示期間：6月11日～7月1日

《議会ロービーでの展示》
「日本風景写真協会大分支部」の会員が大分を中心に九州各地で撮影した風景写真を県庁舎新館1階議会ロビーに展示しました。

県議会ホームページでは

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

- ◇お問い合わせは県議会事務局まで
- 【総務課】 議会庶務、情報公開など TEL 097-506-5019
 - 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など TEL 097-506-5022
 - 【政策調査課】 調査業務、議会広報など TEL 097-506-5035

大分県議会公式X (@oitakengikai)

県議会の活動について発信しています。ぜひ、ご覧ください。

